

郷土芸能祭出演リスト

第4回（さつまフェスタでの開催

於：薩摩総合運動公園グラウンド）

番号	郷土芸能名	出演団体	説明
1	鷹踊り （出演2回目）	求名区 下手鷹踊り保存会	鷹狩りの様子を表現し、祭や殿様の領内見廻りなどの時に踊り、武運長久、領土・領民の安泰を祈ったとされています。鷹踊り、または、鷹刺踊りと呼ばれ、男性がタカ（鷹）という殿様役、女性はエサシ（餌さし）役で、地方（楽屋）と呼ばれる小太鼓・三味線からなり、振りの大きな勇壮な踊りで、昭和36年に県の無形民俗文化財に指定されました。また、求名地区の小学生を中心に指導も続けています。
2	棒踊り	杵野区 杵野区郷土芸能保存会	杵野地区に伝わる棒踊りには、「打ち混ぜ踊り」と「バラ棒踊り」があります。 毎年旧暦の3月10日に、農耕の神様である馬頭観音様にその年の豊作と安全を祈願して奉納されたといわれ、村の若者たちが23歳になるまで踊っていたようです。
3	二渡一本矢旗	二渡区 二渡太鼓踊り保存会	島津義弘公の朝鮮への出陣に、当地方からも多くの人に参加したといい、帰還した人の苦労と武勇を称え、また、戦いで死んだ人の鎮魂のために踊られたといわれています。踊りには、出兵時から帰還祝勝までの様子が折込まれており、戦いの攻めや守り、特に足を引きずるように踊る様子は、戦場の負傷兵を表現しているといわれています。